

**理工学域 > 環境デザイン学類**

授業科目名[英文名] / Course Title	地質学概論[Introducing Geology]		
担当教員名[ローマ字表記] / Instructor	塚脇 真二 [TSUKAWAKI SHINJI]		
時間割番号 / Course Number	35054	科目区分 / Category	選択指定
講義形態 / Lecture Form		対象学生 / Assigned Year	3年
適正人数 / Class Size		開講学期 / Semester	後期
曜日・時限 / Day・Period	火曜・1限	単位数 / Credit	2
キーワード / Keywords	地球科学, 地質学		

**授業の主題 / Topic**

現在の地球上にはさまざまな自然環境が存在し、そこではさまざまな地学現象が発生している。しかし、過去数億年以上にわたって発生した地学現象の蓄積の結果として現在の地球環境が存在するともいえる。活動的な地球の姿を理解し、現在にいたるまでの歴史を学ぶことは、自然の営みを知り地球全体を理解する鍵となるのみならず、国土の防災や環境保全へむけての基礎知識となるものといえる。そこで本講義では、地質学をとおして学ぶことで開発対象としての地球の総合的理解を目的とする。

**授業の目標 / Objective**

現在の地球上にはさまざまな自然環境が存在し、そこではさまざまな地学現象が発生している。しかし、過去数億年以上にわたって発生した地学現象の蓄積の結果として現在の地球環境が存在するともいえる。活動的な地球の姿を理解し、現在にいたるまでの歴史を学ぶことは、自然の営みを知り地球全体を理解する鍵となるのみならず、国土の防災や環境保全へむけての基礎知識となるものといえる。そこで本講義では、地質学をとおして学ぶことで開発対象としての地球の総合的理解を目的とする。

**学生の学習目標 / Prerequisites**

- 1.現在の地球表層環境が成立するに至る過程を理解する。
- 2.地球史上で認識される環境変動の発生機構を理解する。
- 3.地球を構成する物質やその変化について理解する。

**授業の概要 / Outline**

- 1.地球の内部構造(1回)・・・地球の内部構造や構成物などについて説明する。
  - 2.プレート・テクトニクス(3回)・・・現代地球科学の基本となるプレート・テクトニクスについて示し、さまざまな地学現象の発生機構について理解をもとめる。
  - 3.地質年代(2回)・・・地球史を理解するうえでの基準となる地質年代区分ならびにその区分方法について示す。
  - 4.岩石と鉱物(1回)・・・地球を構成する岩石ならびに鉱物の種類や成因、特性などについて示す。
  - 5.堆積物と続成作用(2回)・・・堆積物の生成過程やその移動、そして堆積とその後の続成作用について示す。
  - 6.地質構造(1回)・・・断層や褶曲などの地質構造の成因について示すとともにそれらの地質学的な意味づけを行う。
  - 7.地球環境変動(3回)・・・大陸の隆起や沈降にともなう地殻変動や汎世界的な海水準変動、地球外からの飛来物による変動など、地球史でこれまでに認識された大きな環境変動について示す。
- 関連する学習・教育目標の項目:(A), (C), (D), (G), (H), (J), (K)

**評価の方法 / Grading Method**

- ※成績評価: 次項の項目及び割合で総合評価し、次のとおり判定する。  
「S(達成度90%~100%)」、「A(同80%~90%未満)」、  
「B(同70%~80%未満)」、「C(同60%~70%未満)」を合格とし、  
「不可(同60%未満)」を不合格とする。(標準評価方法)

標準評価方法

**評価の割合 / Grading Criteria**

学期末試験	30%
レポート	70%
毎回の講義後に提出を求めるレポートならびに期末定期試験の結果によって判断する。	